

# 北海道職業能力開発大学校

平成24年度専門課程の学生募集が間もなく始まります

## POINT

当大学校では、3種類の入試制度を設けております。

### ①学校推薦による推薦入試A

選考方法：面接試験(口頭試問含む)、提出書類(推薦書、調査書等)

願書受付期間：

平成23年10月3日(月)～10月12日(水)

### ②自己推薦による推薦入試B

選考方法：面接試験、基礎学力試験(数学Ⅰ・Ⅱ)、提出書類(自己推薦書・自己申告書・調査書等)

願書受付期間：

平成23年11月2日(水)～11月11日(金)

### ③一般入試

選考方法：学力試験(数学Ⅰ・英語Ⅰ)

願書受付期間：

平成24年1月10日(火)～1月23日(月)

### 推薦入試A(学校推薦)の募集要項について

以下の点について、今回の募集から変更することとなりました。

#### ●出願資格について

普通科および総合学科における履修要件のうち、数学は**数学Ⅲを削除**し、理科は**物理Ⅰまたは化学Ⅰ**に変更しました。理数科における履修要件のうち、理科は**理数物理または理数化学**に変更しました。

#### ●募集人数について

推薦入試Aおよび推薦入試Bあわせて各科12名程度(ただし、電子情報技術科は18名程度)に変更しました。

#### ●各校推薦枠について

学校推薦は同一高等学校から各科3名程度(ただし、電子情報技術科は4名程度)に変更しました。

## インターンシップ(企業委託実習)の取り組みについて

当大学校では、学生に生産現場を直接体験する機会を与えることにより、企業等における最新の知識・技能・技術の動向を把握させるとともに、学生の高い職業観を養うため、インターンシップの実施に積極的に取り組んでいます。

インターンシップの実施期間は5日～10日程度で、委託先企業の通常の就業時間に行われます。学校やアルバイトでは経験することのできない仕事に対する緊張感や責任感、安全作業を徹底することの重要性等を肌で感じ、学生はひとまわり成長して学校に戻ってきます。

“就職”・“職業”を意識したインターンシップでの就業体験は、職業選択に対する動機づけとしても大きな意義を持っており、就職活動を目前に控えた学生が自らの将来を見つめ直す非常に良い機会となっているようです。

インターンシップ終了後には、インターンシップに参加した学生の良いところ・改善を要するところ等について、委託先企業のご担当者から率直なご意見を頂戴しており、そのフィードバックにより学生の就職活動や職業生活に対する理解を深め、必要とされる能力の習得意欲の喚起を促しています。



## PICK UP

### ◆ 委託先企業からいただいたご意見等(抜粋) ◆

#### 良いところ：

- ・安全作業に十分気配りし、作業内容も良く理解し一生懸命作業してくれた。
- ・質問が数多くあり積極性を感じた。
- ・工夫を心掛けており、技能を向上しようとする姿勢がうかがえた。
- ・人前での発表も慣れていないのか落ち着いており、適切な言葉を選ぶ余裕も感じられた。
- ・真摯な態度に好感が持てた。

#### 改善・努力を要するところ：

- ・実習受け入れ先企業について事前に調べておくこと。
- ・メモをとるようにすること。
- ・分からないことは積極的に質問すること。小さな疑問点も明確にしておくことが重要。
- ・自分から進んで指示を仰ぎ、やるべき事を見つけていくこと。
- ・コミュニケーション能力を高めるため、積極的に人前で話をする機会をつくること。

## 学科紹介

### ● 専門課程(一～二年目)

#### 【生産技術科】

ひとが昔から営んできた「ものづくり」。生産技術は基本的で最先端の「ものづくり」技術です。機械工学の基礎と基本的機械加工技術を身に付け、設計から加工までの一連の生産工程におけるコンピュータを利用した設計、製図、加工のCAD/CAM技術、材料技術などの先端設計・加工技術を学びます。

#### 平成24年度新科

#### 【電気エネルギー制御科】

電気技術、エネルギー技術及び制御技術を基礎として、風力発電や太陽光発電の電力制御等を学び、環境・エネルギーのイノベーションに対応できる人材を育成します。

#### 【制御技術科】

「思い通りに動かす技術」の実現を目指します。機械を私達が望むように安全かつ快適に動作させる制御システムを広い視野で柔軟に理解し、豊かな実践力を身に付けます。(H23年度学生募集停止)

#### 【電子情報技術科】

21世紀に求められる電子と情報の複合技術者として「インフォニクスエンジニア」を目指し、基礎力重視はもちろん、新時代に相応しい創造力と柔軟な思考力と高度化社会における倫理観を持った技術者を育成し、新たな社会ニーズに応えます。

#### 【建築科】

よりよい居住空間の実現へ向けて、21世紀の北海道の建築を担う新しい技術者「北のアーキテクト(建築家)」が求められています。高度な専門知識と技術、生活や社会活動に対する幅広い知識と関心、そして豊かな感性。これらを合わせ持つバランスのとれた人材を育成します。

### ● 応用課程(三～四年目)

#### 【生産機械システム技術科】

激しく変革、進歩している「ものづくり」現場のニーズをつかみ、それに対応したカリキュラムを準備しています。機械工学分野の専門知識や技術、技能を応用して時代のニーズに対応できる、高度な実践技術者を育成します。

#### 【生産電子システム技術科】

これまで身に付けた電子・電気に関する知識や技術を基礎として、学生個人あるいはグループで「実装技術」、「電子CAD応用技術」、「マイコン応用技術」の3つの技術を中心に学び、製品の企画・開発を担当できる高度な実践技術者を育成します。

#### 【生産情報システム技術科】

コンピュータソフトウェアの設計・開発技術を中心に、システム構築や保守、インフラ(基盤)技術など、IT産業が求める実践技術を習得します。グループでシステム開発を行う諸課題を通して、テクニカル・スキルとヒューマン・スキルを備えた幅広い人材を育成します。

#### 【建築施工システム技術科】

建築生産現場に密接に関連した「ものづくり」を通して、建築物の発想・企画から完成・竣工までの建築生産プロセスにおける品質・工程・コスト・安全業務を管理担当できる高度な実践技術者を育成します。

### 平成23年度 今後の予定

10月3日(月)～12日(水): 専門課程推薦入試A出願期間

10月22日(土): 推薦入試A

10月29日(土): 後志ものづくりフォーラム

11月2日(水)～11日(金): 専門課程推薦入試B出願期間

11月26日(土): 推薦入試B

1月10日(火)～23日(月): 専門課程一般入試出願期間

2月2日(木): 一般入試

#### ◆ TOPICS ◆

オープンキャンパス2011を6/25(土)と8/6(土)に開催し、お陰様で多くの生徒の皆様とご家族、先生方にご参加いただくことができました。

今年度のオープンキャンパスは終了しましたが、学年やクラス単位、または個人での大学校見学も随時受け付けております。

また、高等学校での学内進学相談会等にも積極的に参加させていただいておりますので、説明の時間や相談ブース等をご提供いただける場合は、当校学務課までご連絡ください。



## 「ものづくり」のスペシャリストを育成します

独立行政法人雇用・能力開発機構

北海道職業能力開発大学校

〒047-0292 小樽市銭函3丁目190番地

TEL 0134-62-3552(学務課) FAX 0134-62-2154

<http://www.ehdo.go.jp/Hokkaido/college/>

※当校は、職業能力開発促進法に基づく厚生労働省管轄の大学校であり、独立行政法人雇用・能力開発機構が設置、運営しています。なお、平成23年10月1日をもって、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構に移管される予定です。